

会長あいさつ

私たちはPTA活動を通じ、保護者が育った環境と、現代の子ども達を育てる環境の違いを学び、この世代のより良い教育環境を目指し活動しております。

私たち親世代が育った環境と現代の大きな違いは、SNS(Social Networking Service)による狭い空間での行動範囲の拡大であります。SNSは、多様な情報を取得できる便利なツールですが、地域間・世代間を飛び越え人と繋がる事が出来るため、子ども達には有益であるとは言いがたい側面があります。これだけが原因とはいえませんが、昨今のネットによるいじめ問題や犯罪が低年齢化している要因とも言われております。

インターネットや携帯・スマホは一般に普及し始めて二十数年しか経過していません。その安全対策は企業努力により行われておりますが、まだまだ脆弱なものであり、その機器を判断能力の発達途上である子ども達を使うことが危惧されております。今一度、子ども達をネットによるいじめ問題や犯罪から守るために、日頃からのモラル教育をご家庭で話し合ってください。

教育環境には、家庭教育・学校教育・そして地域教育があります。今年度の市P連の研修大会でも取り上げました地域教育とは、地域の大人と様々な行事や祭りに参加することで、地域(社会)を体験し、家庭や学校では教わる事の出来ない人間関係を体験できる大切な場であるといえます。また、地域の顔の分かる大人が増えることで、子ども達の安全・安心な環境を作る事が出来ると思います。是非、地域行事には積極的に親子で参加していきましょう。ここ数ヶ月の間にも、児童・生徒達に悲しい事や起り、皆様も大変心を痛めていることと思います。「命」は言うまでもなく、かけがえのない一番尊いものです。いじめのニュースが絶えない今こそ、「命」に対する勉強を子ども達だけでなく、保護者も教員も一緒に学び直す機会ではないかと思っております。

北上市PTA連合会会長 齊藤 晃氏
(北王北中学校PTA会長)

また、子ども達は何らかのサインを出している事を、周りの大人達が察知することが大事であります。地域教育で繋がる地域の皆さんの協力を得て、より多くの気づきが出来ると考えております。

結びに、私たちPTAは『子ども達の夢を守る』そして『子ども達の笑顔を守る』をモットーに、これからも様々な課題に取り組んでまいります。

平成27年度北上市PTA連合会役員

- <会長> 齊藤 晃 (飯豊中 P会長)
- <副会長> 菅原 浩一 (北上中 P会長)
- 佐藤 一郎 (南小学校 P会長)
- 三田 崇 (いわさき小 P会長)
- 及川 功 (江釣子小 P会長)
- 川邊 民弥 (二子小 P会長)
- <監事> 佐藤真奈美 (飯豊小 P副会長)
- 高橋 義勝 (笠松小 P副会長)
- 高橋 晃大 (南中学校 P副会長)
- <顧問> 小笠 良史 (前市P連会長・黒西小 P会長)
- <事務局長> 土井 祐之 (飯豊中 事務局長担当)

創立記念 おめでとうございます

江釣子小学校 創立40周年

益々のご発展をお祈りいたします。

市P連からお知らせ

来年度11月、北上市を主会場として岩手県PTA連合会・和賀地区研究大会が開催されます。現在は、準備委員会を立ち上げ、各学校の役員と知恵を出し合い、より充実した大会にするため努力しております。

研究大会には、是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

編集後記

この度、広報委員会の役目を受け、真先に浮かんだのが特集『防犯』のテーマでした。近年、あまりにも子どもが巻き込まれる悲惨な事件が頻発し、それはいつしか身近に起こりうる事態になるかもしれません。子どもたちが安全に安心して暮らせる北上市である事を一番に願ひ、「防犯」の特集を組みました。掲載させて頂きましたPTAの取組を参考として、各校PTAで取組の輪が広がります事を祈っております。犯罪を寄せ付けない市や町をみんなで築きましょう。原稿をお寄せいただき、広報作成にご協力頂きました二子交番佐々木所長様・会長様はじめ、広報委員会の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

北上市P連会報

第37号

一発行日一
平成27年
(2015年)
12月18日

発行：北上市PTA連合会 企画編集：広報委員会 印刷：北上アビリティセンター



《希望のひまわり》

陸前高田市の復興を支えていたベルトコンベヤー。その役目を終えて10月14日から解体工事が始まった。子どもたちには被災地の復興の様子がどのように映ったのだろうか。本格的な街づくりはまだまだ続く。被災地での復興の現状見聞とボランティア活動。「復興教育」での学び・・・それは「人づくり」、未来を切り拓いていくのは若い力だ。

被災地の陸前高田市で育てられ、希望と勇気を与えているひまわりの花。その種は北上にも受け継がれ、子供たちの手で大輪の花を咲かせた。

希望と勇気・・・笑顔とともにその輪が広がっている。

—葵花向日(きかこうじつ)—

目次	☆特集「防犯」..... P2	☆PTA紹介(北上北中・黒西小)..... P6
	☆「防犯」PTAの取り組み(黒東小・鬼柳小・上野中・和賀西中).... P3~4	☆報告1 市P連母親委員会の活動..... P7
	☆PTA紹介(笠松小・飯豊小)..... P5	☆報告2 市PTA連合会研修大会..... P7
		☆市P連会長あいさつ・編集後記..... P8

北上市PTA連合会ホームページ <http://www.kitakamipta.net/>



特集 「防犯」



【子どもを犯罪から守るために】

二子交番所長 佐々木 健 治

一口に犯罪被害と言ってもその形態はさまざまですが、子どもは成人に比べ・身体が小さい・力が弱いなどの理由から、性犯罪・暴力行為・誘拐などの犯罪のターゲットにされることが多いと言われています。

幼稚園・保育園時代に比べ、小学生になると一人で行動する時間が増え、更に中学生になると、その行動範囲、行動時間が広がることからこうした犯罪被害に遭う危険性も増大します。また、性犯罪の被害者は女性だけに限らず、男児が被害に遭うケースもあります。

これらの犯罪の特徴として、

- 子どもが一人でいるときに狙われやすい
- 言葉巧みに誘い出すためについて行ってしま
- 恥ずかしさや恐怖から、被害に遭ったことを誰にも言えない

ことなどがあげられます。

では「指導方法」とは？



大人は分かっているけど、子どもは何に気をつけられたいのか分からない場合があります。連れ去り・性被害等何から身を守れば良いのかを、子どもに具体的に話してあげましょう。

北上市警察署管内の不審者情報

発生場所	発生日時	周辺の環境	不審者の特徴	被害の概要
北上市和歌町 種根地内	H27. 2. 21(土) 10:30	農村地帯の 農道	男/50~60歳位/中肉/グレー /白髪まじり/眼鏡/黄色い軍帽	小学校女児が徒歩で通行中、そばを通りかかった自 動車の運転手から「料金は取らないから乗っていい？」 などと声をかけられたもの。 女子高生が徒歩で通行中、後方から接近してきた 男が、追いつき距離に体ごと乗っかって走り去ったもの。
北上市中野町 地内	H27. 6. 31(日) 22:16	住宅街の表 通り	男/若い顔/165~170位/中 肉/薄髪/黒袖Tシャツ/白色革 ハーフパンツ/黒色短靴	小学高生が自転車で行き、路上にいた男に「お い、おれからこっかに来て」と声をかけられたもの。
北上市相去町 地内	H27. 8. 4(火) 17:00	国道4号線 沿いの道路	男/40代位/165位/小ぶり/黒 色長袖シャツ/黒色長ズボン/黒 色短靴、白色マスク	児童が学校へ帰国登校途中、信号待ちをしていたと ころ、対向側の歩道にいた男に携帯電話を向けられ、 容姿を撮影されたもの。
北上市大通り 地内	H27. 9. 2(水) 7:30	幹線道路の 交差点	男/50~60歳位/170位/薄毛 /白髪まじり/無精髪/灰色トレ ー/黒色ズボン/2つ折り携帯電話	児童が学校へ帰国登校途中、信号待ちをしていたと ころ、対向側の歩道にいた男に携帯電話を向けられ、 容姿を撮影されたもの。
北上市大通り 地内	H27. 10. 13 (金)21:00	北上駅付近 の道路	男/50~60歳位/165位/痩せ/ ベージュ色ジャンパー/黒色ズボ ン/白色帽子/緑なし眼鏡	女子高生がバスを持っていたところ、知らない男に 「どこまで行くの」「どこの高校？」などと声をかけられ、つ きまどわれたもの。
北上市相去町 地内	H27. 10. 23 (金)17:30	住宅街の表 通り	男/50~60歳位/170~175位/ 中肉/黒髪/黒袖Tシャツ/黒色 ズボン/丸形サンダース/黒色ニッ ト/白色マスク/値1名/白色ゼン 製靴	女子児童が徒歩で帰宅途中、車道脇歩道から通り がかりに近づいた男の体から物を持った知らない男に、 体方を撮影されたもの。

ポイント 一人になる時間・場所等を把握しておく
普段の生活で、子どもが一人になる時間や場所を把握し、実際に親子で歩いてみて、そこで起こりうる危険を探り、その対策について指導しましょう。
また、子どもが一人で留守番をするときは、
・人が来てもドアを開けない・電話に出ない
等の取り決めをしておくことも有効です。

ポイント 知らない人については行かない
よく言われる言葉ですが、相手が自分のことを知っていたらどうでしょう？「〇〇ちゃん、お母さんが…」などと言われると、自分のことを知っていると思断してしまうかもしれません。
名札や記名、表札等名前を知る手段はたくさんあります。名前を呼ばれても、自分が知らなければ知らない人と判断するように指導しましょう。

ポイント 大声を出す訓練を
動物等が襲われたとき、身を縮め動きを止めることをimmobility～インモビリティといいます。
大人ですら、驚愕すると動きが止まり、声を出すことも出来なくなります。普段からおなかの底から大きな声を出す訓練をしておきましょう。
犯行時は犯人が緊張状態にあり、「音」や「光」を嫌います。子どもや女性などの弱者を狙った犯人は、予期せぬ大声でインモビリティが起き、その際に逃げることも可能になります。

何よりも、親が子どもの手本になる
子どもにばかり安全を求めても、親が安全に対していい加減では全く説得力がありません。
・自宅では、一緒に窓や玄関の鍵かけをしまわす。
・外出時は、周囲に気を配り、車やバイク、人物等を警戒する等、子どもの手本となるような防犯対策を親自身がしっかり身につけて実践しましょう。

ザ・防犯

黒沢尻東小学校

PTAの取組(父母と先生の会)

当会では、子ども達の健全な成長と安全安心な教育環境づくり、会員相互の交流、地域との連携強化を活動方針に掲げ、家庭教育講演会の開催、環境整備の実施、スクールガードリーダー講習会の開催、親睦会の実施など、地区自治協議会および交流センター事業と連携し協力をいただきながら活動を行っています。
また、学年委員会や地区委員長会などの各専門委員会、図書ボランティアや課外クラブ支援、おやじの会などのボランティアを組織化し、活動方針を具体化する取り組みを進めています。今回は活動の中から「防犯」の取り組みをご紹介します。



毎日の登下校時に危険個所を中心に地域の防犯ボランティアの見守り活動をしていただきながら、保護者も子ども会単位で朝の登校時に子どもたちへのあいさつや登校指導を含め、付き添いながら安全安心を守っております。
昨年は地域安全マップを黒沢尻東地区自治協議会と協働しリニューアル。見やすいカラー印刷のマップを地区の全戸に配布し、活用していただいております。

鬼柳小学校 PTAの取組

鬼柳小学校PTAでは、地域の交通安全や防犯組織と共に実行する子ども達の健全育成に向けた活動として三つの特色があります。一つは今年より下校時の見守り活動の新たな試みとして、PTA会員と共に地域の方々が増える防犯ベストを着用して鬼柳全区の通学路で毎日一斉に見守り活動を実施しております。これにより鬼柳小学校区は隙がなく不審者を寄せ付け難い地域であることを視覚的に示す効果を期待しています。
二つ目は毎週実施している防犯車による鬼柳全域の防犯パトロールです。各自治公民館単位で構成する防犯地区体制の方々や当番表に基づき対応します。三つ目は鬼柳地区の安全マップが完成して交通安全・防犯・防災に関する詳細情報が保存版冊子にまとめられ、地域と家庭やPTAが一体となり、子ども達への声掛けや安全指導を実施する参考情報として活用しています。これら防犯活動に加えて今夏、子ども達を対象にした防犯活動体験など防犯キャラバンや各種イベントが実施されました。このイベント体験を通して、子ども達が見守り活動を良く知り防犯意識や安全確保の手段を自ら考え、健全な生活リズムとモラルを養う事を目標とし、今後継続して実施して行きます。
子ども達が安全な環境で登下校出来るだけでなく、子ども達自身が防犯知識と安全行動が取れるよう、地域とPTAが一体となって鬼柳町防犯ネットワークを築きながら、子ども達の健全育成に向けて活動していきます。



ザ・防犯

上野中学校 PTAの取組

上野中学校区には、長い歴史を持つ教育実践協議会という組織があります。この組織は、地域の課題、日常生活、学校での生活について児童生徒と地域の大人とが話し合うことにより、お互いの理解を深め、地域社会の一員として、お互いが何を行えば良いかななどを考え、「地域の一員としての自覚と地域への愛着」を育てる場とする、というねらいを持っています。小学校と中学校が協力する中で、地域を巻き込み、地域の課題に迫り、その解消に向けて団結していき取り組みであり、地域での子どもたちの健全育成を地域ぐるみで行っていく部分が特長でもあります。



具体的には、児童生徒と語る会や地域行事への協力がありますが、防犯も含めた取り組みとしては、PTAとの共催による地域の絆を深める挨拶運動があります。

この活動は、児童生徒の通学時間帯に声をかけながら、温かな目で子どもたちを見守りながら、さわやかな挨拶で一日をスタートさせていくというものです。この活動では、10か所くらいの場所に立ってワンサイクル小中で2週間、それを3サイクル行う中で、子どもたちを犯罪から守り、そして非行へもはしらせることのないような思いも持ちながらがんばっています。

和賀西中学校 PTAの取組

子どもたちの防犯を考えるにあたり、岩手県内において子どもを狙った声かけ事案が、下記表のように顕著な増加を示しています。これはまさに社会的弱者が犯罪的になっている事が見て取れます。

このような状況下で、子どもたちを犯罪から守る取り組みは何かを模索しました。現在ほとんどの学校で、メールでの情報発信を行っていると思います。当校でも「まちcomiメール」を配信していますが、学校と家庭間での情報共有に留まっている現状に目を付けました。現在の「全校」と「学年ごと」の3ch配信に新たに「地域ch」を増設し、タイムリーな子どもた

ちの様子や、不審者情報・熊の出没情報等を地域の方々に発信する事により、地域全体が子どもたちに関心を深めることができるのではないかと考えました。

現実にはまだ始まったばかりの取組であり、どれだけの防犯効果が得られるかは未知数ではあります。

しかし、学校の垣根を超え地域が丸となる取組を実践すれば、子どもたちを取り巻く目の数が確実に増えることになります。犯罪は決して他人事ではないことを念頭に、地域コミュニティを巻き込んだPTCA活動を展開することが防犯への第一歩となると考えます。

県内「子どもに対する声かけ等」の認知状況 (27年9月末調べ)

区分	認知件数	内小学生被害	発生場所別				時間帯別						
			道路	公園	駐車場	その他	22:00~5:59	6:00~7:59	8:00~9:59	10:00~13:59	14:00~15:59	16:00~17:59	18:00~21:59
平成27年	246	113	180	12	9	45	4	32	11	34	48	66	51
平成26年	294	148	221	7	7	59	3	32	10	28	75	81	65
平成25年	307	119	237	8	7	55	3	32	14	34	52	95	77
平成24年	251	133	198	10	9	34	4	33	9	15	110	47	33
平成23年	218	106	177	9	5	27	5	32	10	16	84	42	29

PTA紹介

～小所帯だからこそ～

笠松小学校

私達の笠松小学校は、児童数百十九名PTA会員数が九十四名のいわゆる小規模校です。小さい所帯ではありますが、子ども達の学校生活のまとまりのためにも保護者もまとまっていこうと学校行事を軸に様々な活動を通して親睦を図っています。

九月には、PTA早期作業後ソフトバレーボール大会を開催しました。事前の申込みより多くの参加者があり大変うれしく思いました。また、PTAとは少し違いますが、校区各地区の子ども会の活動もまた、地域の皆さんと触れあう機会となっており、保護者の私達とは違った目線のアドバイスを頂戴することもしばしばです。ありがたいことです。もう一つありがたいのは先生方が子ども達はもちろん我々保護者にしっかりと向き合ってくれていることです。

PTA=ペアレント&ティーチャー‘アソシエーション’…P、T単独では成り立たないと思っています。地域の方々も含めたAを作り上げることが大事なことだと思っています。



PTA紹介

～図書ボランティアの皆さん～

飯豊小学校

ある日の活動日にお邪魔してきました。この日の活動は本の修理と本棚の整理。本の看護師さんのようなお母さんたちの活動の様子と一緒に見てみませんか？

<本の修理>

「本の救急箱」と書かれたボックスには、子どもたちが見つけた、破れたりページが抜け落ちてしまったりした本が入れています。



メンバーの皆さんはこの本たちをやさしく手当てしてくれます。筆の先でちょんちょんと少しずつボンドを付け、ページ同士がくっつかないように紙がはさまれた本は、乾かす間、固定のために包帯が巻かれます。



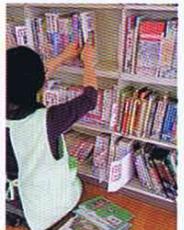
包帯を巻かれた本はいかにも「怪我を直してもらった」といった風情。手当てを受けた本たちは、翌週の活動日に参加したメンバーさんに点検してもらった後、修理完了であれば本棚に戻されます。

<本の整理>

『あれ、この本どこにあったっけ?』たくさんの本がある図書室。夢中で本を見ていた子どもたちには「元の場所」が分からなくなってしまうことも・・・。

間違って戻された本たちを、本来いるべき「おうち」に戻すことで、目的の本を見つけやすくした壁面装飾を作って図書への子どもたちの興味を引いたり、読み聞かせをしたり、子どもたちが楽しく図書に親しめるように工夫しています。

各校でも図書ボランティアさんが活動くださっていると思います。その地道な活動が子どもたちの笑顔の一端を担っている事に敬意を表し、改めて感謝したいです。



PTA
紹介

～市民パレード最優秀賞の夏～

北上北中学校

『第54回北上・みちのく芸能まつり市民パレード最優秀賞は・・・北上北中学校です！』『ワァー』と数千人の前で大歓声が上がった！

8月7日（金）に開催された北上・みちのく芸能まつりの市民パレードに中学生として初めて北上北中学校が参加しました。本校は毎年、体育祭で「北上おでんせ」を生徒全員で踊っており、一生懸命練習した素晴らしい踊りをみちのく芸能まつりの市民パレードの場で披露しようと本校PTAで話し合い今回の参加に至りました。

市民パレードは「北上おでんせ」と「日高見甚句」の2曲構成で行っており、日高見甚句は基本形の踊りと創作踊りと選択できます。



本校の生徒は日高見甚句を難しい創作踊りで挑み、夏休みに入ってから踊りの先生にご指導頂きながら練習を繰り返し市民パレードに参加し、子どもたちにとって北上・みちのく芸能まつりへの参加を通じて、子どもたちが北上への地域愛を育み、地域の方と触れ合い共に参加することで地域教育の一助になったと考えます。子どもたちの教育は、家庭、学校そして地域が連携・協働して行っていくことが重要であり、今後も多くの子どもたちが参加し、北上の地域教育の一環として子どもたちの健全育成に努めていきたいと思ひます。



PTA
紹介

～交流会をとおしての活性化～

黒沢尻西小学校

本校は今年で創立55周年を迎えます。黒沢尻西小学校のPTA活動は、先人の想いを紡ぐ形で現在もその精神をしっかりと受け継いで活動しております。活動の主眼としては、家庭・学校・地域と連携し、保護者と先生方、また保護者同士がコミュニケーションを図れる機会を多く設け活動しております。

活動の中でもPTA全校親子清掃は、特に西小学校らしきがある事業の一つです。児童・保護者・先生方と一緒に普段からお世話になっている学校の校舎をびかびかにするという活動です。

今年も501人という多数の参加をいただき、ガラス清掃やトイレ清掃など、子どもたちの手が行き届かない場所を中心に実施しました。三者がそれぞれの役割をしっかりとこなし、終わった後の充実感を感じる事業でありました。

このほか、「おやじの会」による環境整備活動やPTAスポーツ交流会など、交流活動を重視しながら、それを基盤としたPTA活動の活性化を図っております。これからも、家庭・学校・地域が連携を深めながら、60周年、100周年をめざし活動を継続してまいりたいと思ひます。



平成27年度 北上市PTA連合会母親委員会の活動

～食育をテーマに～

今年の母親委員会で、昨年度に引き続き食育をテーマに2回研修会を行いました。

1回目は、8月26日に北上市北部学校給食センターの見学と給食の試食、高橋所長補佐さんの講話。2回目は、9月25日に菓子工房「プール・ド・ネージュ」で織笠シェフのお菓子作りのデモンストレーションと講話、試食を行いました。1回目の研修会では、所長補佐さんの講話をお聞きし施設内を見学させて頂きました。参加者一同、衛生管理と子ども達の体のことを一番考えて献立を考え、毎日3300食もの給食を作ってくださる職員の方々に、あらためて感謝しました。頂いた給食のおいしかったこと。プール・ド・ネージュさんでは、お店恒例の大人気な「お菓子な夕べ」を特別に母親会のために開いて頂き、参加者は感激ひとしお。



テーマは、季節の食材を使って、子どもの体にやさしいおやつ作り方を学ぶということでしたが、おはなしはそれに留まらずに、ご自分の歩まれたこれまでの道のり、フランスの菓子文化と日本のそれとの違い、学習することの大切さ等もお聞きすることができ、参加者はお得感いっぱい、というところでした。次々と運ばれるスイーツの美しさとおいしさとともに、とても幸せなひと時を過ごすことができました。2回とも食について考えることのできた有意義な研修会となりました。

子どものまほう

平成27年度 北上市PTA連合会母親委員会の活動

「地域からの贈り物」～民俗芸能から広がる地域教育～

今年の研修大会は、10月31日にプランニュー北上で開催されました。

次第3部構成の講演1では、「北上みちのく芸能まつりの取組について」みちのく芸能まつり実行委員の中野 義明氏・佐藤 健氏・小館 良史氏・木戸口 幸弘氏の各イベントの代表者を迎え、みちのく芸能まつりの運営について・まつりを通じて子どもたちに感じて欲しいメッセージなど、まつり参加の素晴らしさをお話いただきました。「芸能は地域の活性化。たくさん子どもたちにまつりに参加して頂き、地域愛を育みながら、皆でまつりを盛り上げていきたい」など、子どもたちを想う実行委員の皆様熱意に心打たれました。



講演2は、「民俗芸能の歴史と今」と題し、民俗芸能祭り研究家の熊谷 保氏をお招きし、北上市の民俗芸能の発祥・起源に遡り、歴史やそのゆかり、芸能団体の伝わり方など詳しくご説明頂きました。そしてパネラーに門岡念仏剣舞保存会長の司馬 道雄氏・北上市民俗芸能保存団体連合会副会長の菅原 晃氏を迎え、「民俗芸能から広がる地域教育」についてのパネルディスカッションが行われました。

「子どもたちが芸能や地域文化と繋がり、踊りなどを楽しみ時には叱られながら、大人から教わり得た生きる力と素晴らしい民俗芸能を後世へと伝えて欲しい」地域教育力の大切さなどお話いただきました。



エンディングでは、山口結太鼓の皆さんによる太鼓が披露され、研修大会に花を飾って頂きました。

